

18. 命を守り、健康になる家

東陽住建株式会社

【所在地】一宮市森本2-2-12
【TEL】0586-73-3008
【URL】<https://www.toyo-ie.jp>



大事にしている
SDGsのゴール



今の森を未来に

東陽住建は、東濃ひのきを使用した住宅を手の届きやすい価格で販売しています。

また、SDGsの「陸の豊かさを守ろう」や「つくる責任 つかう責任」に繋がる持続可能な森林育成、保護を行っています。

その取組みの一つが『ひのき3,000本プロジェクト』です。これは、東濃ひのきの家を建てるご契約をされたお客様の家の柱すべてを無償で提供するというもので、この活動を通して“東濃ひのきの良さを知ってもらう”、“森を循環させるために木を使用する”その二つの思いから、実施しています。



一宮商業高等学校2年 「コマーシャルデザイン」8班

今回の取材を通して東陽住建様はただ家を作るだけでなく、地域に寄り添いながら、SDGsに基づいた取組みを行っていることが分かりました。社長の家づくりに対する、“命を守り健康になる家”という思いに感銘を受けました。これからもこだわりの家を作り続けてほしいです。

“家”という資産をどう残すか



東陽住建は、耐震シェルター工法で住宅を建設しており、従来の木造住宅よりも空間を持たせることが可能です。

そして、通常の木造住宅よりも7.5倍以上強い家になっています。この“長く、安全に、安心して住める家”が、東陽住建の特長です。これは、SDGsの目標である「住み続けられるまちづくりを」に繋がっています。

今後、新しく行っていきたい取組みに、“何にも活用できず無駄になってしまう空き家を減らしていく”というものがあります。家がリフォームしづらいと買い手がつかないことが多く、このことが原因で空き家が増加しています。これに対し、東陽住建は多様な生活スタイルに合わせられるリフォームが可能な家を作っていくことを目標にしています。

2030年に向けた意気込み

木を使う文化を当たり前にし、プランターでひのきの苗を育て、優良な資産を未来に残します。